

JOC ジュニアオリンピックカップ 平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会

【山形県予選会実施要項】

1 目的

県内ジュニア選手を対象に試合を行い、技術向上を図るとともに標記大会東北予選会への出場選手を決定する。

2 主催

山形県柔道連盟

3 日時

平成30年6月10日(日)

○ 午前9時30分:審判・監督会議

○ 午前10時00分:開会

4 場所

山形市総合スポーツセンター(落合)武道場

* 隣接の第2体育館(小体育館)を選手控室とします。

5 出場資格

(1) 選手は、日本国籍を有し、(公財)全日本柔道連盟に登録した者で、平成10年(1998)1月1日以降、平成15年(2003)12月31日以前の出生者であること。

(※ 2018年中に15歳~20歳になる者)

(2) 選手は、登録を行った県からのみ予選に出場できる。

(3) 高校生・中学生の参加は、個人戦において以下の成績を残した者とする。

ア 平成30年度県高校総体 個人戦各階級男女ともにベスト8以上の者。

イ 平成29年度県中学総体 個人戦各階級優勝者(中学2年生時に優勝した者)。

ウ 男子55kg級及び女子44kg級に関しては、個人戦の成績関係なくフリーとする。

ウ その他、過去の成績等を考慮し県柔道連盟が認める者

(4) 体重別とし、区分は次のとおりとする。

ア 男子(8階級)

55kg級, 60kg級, 66kg級, 73kg級, 81kg級, 90kg級, 100kg級, 100kg超級

イ 女子(8階級)

44kg級, 48kg級, 52kg級, 57kg級, 63kg級, 70kg級, 78kg級, 78kg超級

(5) 脳しんとう対応については以下のとおりとする。(全柔連指示)

予選会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した選手は、脳神経外科医の診察を受け、出場許可を得ること。(書面で提出)

予選会中、脳しんとうを受傷した選手は、継続して当該予選会に出場することは不可とする。

なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。当該選手の監督は県柔連事務局及び全柔連に対し、適宜の様式で書面により「事故報告書」を提出すること。

6 試合方法

各階級トーナメント戦とする。

7 審判規定

- (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。
- (2) 試合時間は4分間とし、優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上とし、得点差がない場合は、時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア方式)により勝敗を決する。
- (3) 試合はトーナメント戦で行う。
- (4) 大会におけるマウスピースの使用を可とする。マウスピースは白または透明なものとし、使用する選手は畳に上がる前に審判員にマウスピース使用していることを申告すること。
- (5) 全日本柔道連盟柔道衣規格に適合した柔道衣を使用すること。

8 受付計量

予選会当日午前8時40分から同9時30分とする。但し、今回の県予選会に限り各階級 **+1 kg** まで認める。

9 表彰

各階級第2位まで表彰する。

10 出場申し込み

所定の申込書により男女とも、本年6月5日(火)午後4時まで必着のこと。

11 申込先及び照会先

〒 990-0037

山形市八日町 1-2-5 ヴェルビュ八日町 205

山形県柔道連盟事務局 縄野一史宛

TEL・FAX 023-641-8818 携帯 090-8505-8908

[e-mail:abusan23@gmail.com](mailto:abusan23@gmail.com)

12 参加料

1人 1,000円(予選会当日徴収)

13 その他

- (1) 本予選会の優勝者は、東北予選会出場権を獲得する。
- (2) ゼッケンを付けていない者は失格とする。
- (3) 各出場選手は、必ず傷害保険に加入して出場すること。
- (4) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。